

第5期 麻生区区民会議 第2回全体会議

- 1 開催日時 平成26年11月21日（金）午後3時00分～午後5時00分閉会
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]
石井（郁）委員、石井（よ）委員、石川委員、植木委員、上野委員、
岡倉委員、小尾委員、梶委員、金光委員、志村委員、白井委員、
菅野委員、高倉委員、高橋（克）委員、高橋（慶）委員、林委員、
宮本委員、山田委員、吉垣委員
(欠席) 横田委員
[参与]
雨笠参与、勝又参与、月本参与、
(欠席) 木庭参与、花輪参与、山崎参与、相原参与、吉田参与
[事務局]
鈴木課長、蛭川課長補佐、白石担当係長、藤江、麻生、佐藤
[関係者]
多田区長、中山副区長、安藤区民サービス部長、
浅見保健福祉センター所長（医監）、大西保健福祉センター副所長、
小林こども支援室長、杉山総務課長、中村地域振興課長、
猪瀬生涯学習支援課長、吉澤危機管理担当課長補佐、
綱島道路公園センター所長
- 4 傍聴者 なし

麻生区区民会議 第2回麻生区区民会議

日 時 平成26年11月21日(金)

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時00分開会

1 開 会

金光委員長 定刻になりましたので、第2回麻生区区民会議を開催したいと思います。

前回の第1回の企画部会で皆様方からいろいろ提案がありました。それを整理して、大体2つの大きな枠の中に分けて、それぞれの課題を整理するような形にいたしましたけれども、今日はそれをベースに、これから2年間にわたってどういう方向で議論していくか、あるいは審議していく方向性を決めていただきたいと思います。それに基づいて事務局のほうから、先般議論し整理したものを、ここで発表いたします。それをベースにして、皆さん方、さらに議論を深めていただいて、どういう方向で議論したほうが一番ベターなのかということで、今日、それを決定したいと思いますので、ひとつ皆様方のご協力をお願いしたいと思います。

2 議 事

金光委員長 それでは、本日の議事並びに資料について事務局より確認をお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

事務局 企画課長の鈴木です。よろしくお願いいいたします。

それでは、配付資料の確認をさせていただきます。

一番上が本日の会議の次第でございます。次に、資料1としまして、席次表、資料2としまして、第5期麻生区区民会議委員・参与名簿、資料3としまして、第5期区民会議の課題及び検討の方向性についての区民会議委員意見でございます。次が、資料4としまして、所属専門部会委員一覧(案)、資料5としまして、第5期区民会議広報・広聴について(案)、資料6としまして、第5期区民会議スケジュール(案)でございます。参考資料としまして、1に第5期麻生区区民会議運営要領、2としまして、第1回企画部会 議事要旨、3としまして、平成26年度第1回かわさき市民アンケート概要版となっています。資料に不足はございませんでしょうか。よろしいですか。

次に、本日の議事について確認をさせていただきます。次第をごらんください。2の議事といたしまして、次の2点について審議をお願いいたします。

第1に、第5期麻生区区民会議調査・審議課題についてでございます。第2に、広報・広聴活動について、第3に、第5期区民会議スケジュールについてでございます。よろしくお願いいいたします。

(1) 第5期麻生区区民会議調査・審議課題について

ア 専門部会の設置について

金光委員長 どうもありがとうございました。それでは、第1回の企画部会で意見をまとめましたけれども、それについての審議に入りたいと思います。コンサルのほうからそれについての説明をお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

コンサル それでは、資料3をごらんになっていただきながら、お話を聞いていただきたいと思います。まず、おさらいという形ですが、8月に、第1回区民会議全体会を開催しまして、そのときに皆さん、マイクを回しまして、麻生区の課題について出させていただきました。それを整理したところ、若い世代が住みやすいまち、新百合ヶ丘駅の将来のまち、市民活動・地域活動の充実、高齢化社会に向けて、環境問題への取り組みという形で整理しました。

それを大きく分けたのが、資料3の①(仮称)若い世代が住みやすいまちづくりと、②(仮称)市民活動・地域活動の活性化の2つの大きなくくりで整理したという経過がございます。それをもとにしまして、9月に開催しました第1回企画部会におきまして、テーブルに分かれまして議論を行いました。皆さん、それぞれのテーブルをぐるぐる回りながら意見交換を行ったという経過があったかと思います。そこまでに出席された意見を整理したものが、資料3でございます。第1回全体会と第1回企画部会で出席された意見をもとにして作成したというものでございます。

この見方なのですけれども、まず、表の上の部分ですが、課題名、課題、課題に対する検討の方向性、これまでの取組ということで、区民会議の取組、市や区、地域の取組という形で整理しています。

まず、若い世代が住みやすいまちづくりからご説明したいと思います。まず、課題名というところで、これに関して大きく整理すると、一番左側、子育てに関すること、子どもの居場所づくり、若い世代が定住するまちに整理できる場所がありました。

それぞれ、課題、どんなことがあるのかというところがありまして、子育てに関することについては、子育てフェスタの継続開催とか、子育てしやすいまちづくりのための情報発信の仕方についてとか、子育てしやすい環境の検討といった課題が出されていました。

そして、課題に対する検討の方向性、ここが今後、専門部会に分かれたときに具体的な審議課題を検討していく部分があるのですけれども、そこがネタになってくるのかと考えております。そこにつきましては、子育てに関することについては、第2回子育てフェスタへの関わり方についてというところで、これを継続していくための方法を考えていきたいとか、子育て情報の周知方法について、どういうふうに周知した

らいいのか、麻生区の子育て環境についてというところで、どういうところが子育てにふさわしいのかというような方向性があるのかと思います。

子どもの居場所づくりにつきましては、課題としては、子どもの居場所づくりについてということで、安心して遊べる場所が必要ではないかということで、公園のあり方とか、子どもの居場所について考える必要があるのではないかとといったようなご意見がありました。

その次、若い世代が定住するまちについては、課題については、新百合ヶ丘周辺のまちのあり方についてとか、若者の集う場所づくりについてとか、若い世代に魅力あるまちについてとか、文化芸術の情報発信についてといった課題が挙がってしまし、それぞれについての課題に関する検討の方向性としましては、新百合ヶ丘のまちづくりの方向性について、短期、中期、長期みたいな形で考える必要があるのではないかと。そこについては若者が参加できるようにするべきではないかとか、若者が魅力的に感じるまちづくりについて、ワークショップ等を通じて検討するべきではないかとか、芸術のまちづくりについて、麻生区全体の芸術のまちの役割を検討するべきではないかといったような検討の方向性のご意見が出されました。

これまでの取組のところは、それに関連しそうな区民会議の取組、市や区、地域の取組が整理されております。今後、区民会議の専門部会で審議課題を検討するに当たって、ダブってはいけない部分もあったり、同じことを重複してはいけない部分もありますので、これをにらみながら、今後、専門部会で検討していくことが必要になってきます。

その次、②（仮称）市民活動・地域活動の活性化についてでございます。一番左側、課題名として、課題を大きくくくると、市民活動・地域活動の担い手づくり、その次が、市民活動・地域活動の活性化支援、地域におけるコミュニティづくり、次のページに行ってくださいまして、高齢者等が住みやすいまちづくり、最後に、環境に関わる取組といった課題が大きく出ておりました。

それぞれの課題につきましては、担い手づくりのところは、若年層の参加についてというところ、特に中学生とかが地域に参加してほしいといったのはどうすればいいかという話がありました。あと、元気なシニアの活かし方についてということで、シニアの方々がどうやったらそういう活動にどんどん積極的に参加するかということですね。そもそも参加しやすい市民活動・地域活動とはどんななのかといったような課題がありまして、そういうところで、方向性としましては、若年層の参加について、どうやったらそういうふうに参加が得られるかを検討すべきではないか。あと、高齢者の活用についてということで、高齢者の経験を特技とかそういったところを生かすためにはどうすればいいかということを検討すべきではないかということ、あと、市民活動・地域活動の参加についてということで、多くの人が市民活動・地域活

動に参加するためにはどうすればいいか、そういう仕組みを考えるべきではないかといったようなご意見がありました。

その次の下ですけれども、市民活動・地域の活性化支援については、課題といたしましては、市民活動・地域活動の情報発信について課題があるのではないかという話と、課題解決におけるやまゆりの役割。やまゆりは麻生区にどんな役割があるのかというのがありまして、それに関しては、市民活動団体の情報発信について、有効的な情報発信の方法とか、支援の方法を検討すべきではないかということ、あと、やまゆりの役割については、麻生区のまちづくりにおけるやまゆりの役割を改めて検討すべきではないかというご意見がありました。

地域におけるコミュニティづくりに関しましては、世代間交流におけるコミュニティづくり、地域での互助・共助についてというところで、町内会の枠組みを含めまして、そういう仕組みをするためには課題があるのではないかという話がありまして、検討の方向性といたしましては、世代間交流による地域コミュニティづくりについて、どういうふうにしたらそういうのが展開できるのか、検討すべきではないかという話、あと、互助・共助の地域コミュニティづくりというところで、町内会・自治会をベースに互助・共助の地域コミュニティづくりをするためには、枠組みを含めてどうすればいいかというところを考えるべきではないかといったようなご意見がございました。

その次のページ、大きなくくりといたしまして、課題名、高齢者等が住みやすいまちづくりについては、これは地域の見守り体制というところで、見守り、見守りと言っているけど、個人情報の問題もあって、なかなか見守るのは難しいよねという話がありました。これについては、改めて地域による高齢者とか障害者の見守りの仕組みを検討すべきではないかということ、あと、地域の人・高齢者の居場所づくりについてに関しましては、外に出るチャンスをつくるべきだということが必要だという話がありまして、それは課題だという話がありまして、それが高齢者等が安全に安心して外出できる環境づくりについて、どういうふうになったら安全・安心で外出できるのかといったところを検討すべきではないかというご意見がございました。

その次、環境に関わる取組に関しましては、環境問題についてということで、緑とか、ごみとか、温暖化といった問題を早く投げかけたい、あと、食品添加物とか、農薬とか、そういう問題もあって、そういうのをしてほしいというのがありましたので、環境問題について広く区民に働きかける取組を検討すべきではないかということと、検討に当たっては、環境のどの分野について検討するかを検討する必要があるといったことが出されておりました。

まちの活性化に農業を生かせないかというところで、麻生区のまちの資源という大きなところでは、農業というのがあると思いますけれども、これを何とか生かせない

かなというのがありまして、農業のまちづくりの推進というところで、その資源である農業を多くの人に知ってもらうためにはどうすればいいとか、農業自体を知ってもらうためにはどうすればいいとか、野菜を食べてもらう機会づくりとかをやっていったらいいのではないかと、そういったことをするためにはどうすればいいかといったようなご意見が出されていたかと思えます。

これらにつきましても、区民会議の取組、市や区、地域の取組といったのがありますので、それと、今後の専門部会で照らし合わせながらやっていく、検討していく必要があるのかと思えます。

今日また専門部会に分かれたりですとか、今後、専門部会をそれぞれ開催していくと思うのですが、この資料3を踏まえまして、ネタになる部分がありますので、今後は具体的な審議課題をどうすればいいかというところを検討していく、決めていくという作業があるのですが、資料3を踏まえていただきまして、審議課題を決めていくという作業になるのかと思っております。

以上でございます。

金光委員長 どうもありがとうございました。それでは、今の説明について、委員の皆様方から、さらに補足したい点、あるいは意見がございましたら、どうぞ意見をいただきたいと思えます。何かございますでしょうか。もう少しこの点について触れてもらいたいという意見はございませんか。

白井委員 これでもいいのかなというところもあるのですが、地域におけるコミュニティづくりの中で、地域での互助、共助についてということで、最終的には、町会なり自治会を中心としてという話は、最終的な目標としてはこれでいいのですが、その前に、仕組みづくりというか、町会そのものが、最初にちょっと申し上げたように、大きい町会もあったり、小さい町会もあったりするような、その辺の目安というか、今後組織づくりという中で、区なり市なりと連携しながら、これをしっかりしないと、幾らこれを言っても、仕組みというのが1つは大事かなと。ハード的な部分から。これはソフトだと思うのです。最終的な結論はこれでいいとは思いますが、その部分の言葉を少し足しておいてもらったほうがいいのかなど。その先のやり方としてはだんだんこうなっていくのかもしれませんが。ということで、よろしくをお願いします。

金光委員長 仕組みづくりというのをここに入れたほうがいいということですか。どういうふうに住組みをつくるのか。

白井委員 その形から最終的には互助ということになるのでしょうかけれども、その前に、それがちょっとなかなか今難しい状況でしょうというところが、私は意見としては出した意味です。

高橋（慶）委員 麻生区の町会連合というのもそうですが、川崎市もそうですけれども、

麻生区の町内会というのは地域の単一町会ということで設立しておりまして、活動もしております。その中で、麻生区町会連合としては、第1ブロック、第2ブロック、第3ブロック、第4ブロックという形で、地域を4分割していて、その中で公平に委員を選んで町会連合として麻生区全体の議事に携わっております。川崎市のほうは、連合町会もありますし、単一町会もありますし、そこまで深くというか、区民会議が考えていくということ、地域の中に互助とか、共助とか、いろいろな活動の中で町会、町会連合として活動しておりますので、そこら辺についてはもう少し、何を町会にとか、区民会議が区民の集まり、コミュニティというところで除いていきたいのかというのは、やはり町会連合の役割ということも少し理解していただけると結論が出るのではないかと考えておりますので、いかがでしょうか。

白井委員 今の既存の町会がどうのこうのという話も1つあるのですけれども、そうではなく、町会に組織化されていない部分もあるものですから、そういった人たちとの連携をどうするかというところだと思うのですよ。町会としてしっかりやっていたところが多いと思うので、それはそれでいいと思うのですけれども、そういうことができていないところが今一番問題なのかなというところで、組織の仕組みづくりみたいな話という意味で申し上げました。

高橋（慶）委員 白井委員自体が町会の活動にかかわっていらっしゃると思いますけれども、町会は、今、106団体、町会連合に属しておりますが、入会促進というのも、川崎市全体、町会連合会、それから、麻生区のほうでも、ここに書いてありますけれども、促進しております。実際、どういう方が町内会に参加しないかといいますと、もちろん若い世代の方で、マンションとかアパートに単身、それから、テラスハウス等に、麻生区に在住しても二、三年で転出を繰り返しているという状況もありますので、そこら辺の現況をもう少し調査するのでしたら調査していただいた上での話ではないかと思えます。

金光委員長 ありがとうございます。この問題についてはさらに部会に移って、どういうふうな形で展開していくのか、これを取り上げるのか、取り上げないのか、あるいは取り上げるとすればどういうふうな議論展開をしながら、例えば町連と協調しながらこの問題を解決するかという形でお話ししていただければいいのかと思えますので、これは部会のほうへ移ってさらに審議を進めていただきたいと思えますので、よろしくお願いします。時間の都合、そういう形にしたいと思えますので、ご了承いただきたいと思えます。

そのほか何かございますか。——なければ、コンサルの方の説明を踏まえて、今の議論を踏まえて、第1回の全体会議と第1回企画部会で出ました委員の方々の意見をまとめて整理したところ、今回、このようにきれいな形で2つに大きな形で分けることができましたので、今後の第5期の区民会議では、テーマとしては、若い世代が住

みやすいまちづくりと、それから、市民活動・地域活動の活性化の2つのテーマに絞って、審議、あるいは調査を深めていきたいと思っておりますけれども、どうでしょうか。そういう形でいくことにもし問題がなければ、この場でご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。問題なければ、拍手をお願いします。

[拍手]

金光委員長 今後の検討課題としては、大きくこの2つのテーマをベースにして進めていきたいと思っております。ありがとうございます。

イ 専門部会の委員について

金光委員長 それでは、その次のテーマで、専門部会の委員について審議したいと思います。どちらの部会に所属したいか、それにつきましては、資料4の所属専門部会委員一覧（案）をごらんください。これは事務局のほうから皆さん方に、どのテーマを検討したいか、どのグループに属したいかということで問いがあったと思っておりますけれども、それをベースにしてふるいをかけたところ、資料4のとおりの方に類分けができました。それぞれの方が、若い世代が住みやすいまちづくりで10名、市民活動・地域活動の活性化で10名、ちょうどいい形に分かれました。それから、委員長、副委員長も両方へバランスよく分かれましたので、ちょうどいいような配分になったのではないかと思います。これをベースにして、それぞれ部会に分かれて審議をしていただくような形になります。この分け方で皆様方、よろしいでしょうか。これでいいということであればご承認いただきたいと思います。

[拍手]

金光委員長 ありがとうございます。

(2) 広報・広聴活動について

金光委員長 それでは、その次の広報・広聴活動について移りたいと思っております。

区民会議運営要領第6条第2項第3号にありますとおり、区民会議の広聴広報活動については企画部会で行うことになっております。事務局からその件についてご説明願いたいと思っております。よろしく願いいたします。

事務局 麻生区役所企画課、白石と申します。よろしく申し上げます。

それでは、資料5の第5期麻生区区民会議広報・広聴について（案）について説明させていただきます。こちらの資料はあくまでたたき台ということで、今後、企画部会のほうでもんでいただく形になりますが、ひとまず基本的な形を説明したいと思います。

まず、広報活動につきましては、川崎市民アンケートで、3年に1回、認知度の調査をしております。前回は23年で、こちらるとき、区民会議、内容まで知ってい

る、あることは知っているの合計が22.2%でしたけれども、今年度の調査で26.7%に上がっている。さらにその前の平成20年度は、参考までですけれども、14.9%でしたので、徐々には上がってきている状況ですが、まだ低い状況にあるということで、第5期も引き続き、区民の認知度向上を目指して活動を展開していく必要があると考えております。

その方法ですけれども、まず、区民会議ニュース、こちらが町会のご協力をいただきまして、年3～4回、回覧させていただいているという形です。

PR活動として、第4期の区民会議から力を入れてきたところですが、各種地域情報誌の活用ということで、マイタウン、タウンニュース、メディ・あさおというところに積極的に情報提供して、掲載させていただいています。参考までに、区民会議のメディ・あさおに紹介された記事も掲載しております。さらに、区のホームページとか、町連への働きかけも強化していく必要があるかと考えております。

また、広聴活動ですけれども、こちらは提案箱ですとか、ホームページの活用ということで、件数的には、平成24年度が3件程度、今年度に入って1件あったということで、やや少ない形ですけれども、こちらも区民会議ニュース等を使って、意見を広く集めていければと考えております。

説明は以上です。

金光委員長 どうもありがとうございました。第5期の区民会議においても、今後、広報並びに広聴活動については、この案のとおり進めていきたいと考えています。この要領で行くことについてよろしいでしょうか。ご承認いただければと思います。

[拍手]

(3) 第5期区民会議スケジュールについて

金光委員長 それでは、第5期の区民会議スケジュールについて検討に入りたいと思います。今後、第1回専門部会を12月に開催して、専門部会の正副部会長を選出させていただきたいと思います。そして第3回の全体会議でもって報告という形にしようと思っています。そして、第2回以降の専門部会につきましては、部会ごとに開催頻度をまとめていただきたいと思います。そういうことで、今後の会議を進めていきたいと考えております。事務局のほうから説明をお願いします。

事務局 事務局のほうから補足させていただきます。

それでは、資料6をごらんください。こちらが第5期区民会議の2年間のスケジュールを一覧で見られるようにしておりますが、今、第2回全体会議を開催しております、その後の予定ですけれど、年内、12月中に、若い世代と市民活動の専門部会を1回ずつそれぞれ開催できればと考えておまして、こちらのほうで正副部会長を正式に決定していくということと、調査・審議をスタートさせていくということです。

その正副部会長が決まりましたら、企画部会のメンバーが正式に確定しますので、1月には第2回の企画部会。第1回が全員参加型でしたので、第2回は正式なメンバーでの部会ということでスタートします。その後のスケジュールにつきましては、各部会のほうで調整していただいて、回数を決めていただければと考えております。全体会につきましては3カ月に1回程度、今後ですと、2月、5月、8月、おおむねそのぐらいの月のペースでやっていきまして、28年5月には最終的な提言が確定するというようなスケジュールで行きたいと考えております。

補足は以上です。

金光委員長 どうもありがとうございました。こういう形で進めていきますけれども、大体の進め方について何かご意見はございますか。あるいはもう少しこういう形でやりたいという。

高倉委員 企画部会の構成メンバーについてお伺いしたいのですけれども、1月の第2回企画部会がありますね。それを矢印が下がってきたら、構成というのがありますよね。その中で、正副委員長及び専門部会の正副部会長等になっていますから、この「等」というのは、役職、部会長とか、正副委員長以外の人を指しているのですけれども、企画部会のメンバーは正式には全体会議で承認されないと入れないというふうになっていると思うのです。そうなってくると、その「等」の意味がなさなくて、その方は第3回の全体会議以降しか入ってこれないということになりますけれども、そういう解釈でよろしいのですか。

金光委員長 今日の全体会議の後に、分かれて正副の部会長を決めていただきますけれども、戻ってきた段階で。

高倉委員 企画部会のメンバーをお尋ねしているのであって。

金光委員長 それで、一応、企画部会のメンバーは、今回の委員長、副委員長と、それから、各部会の部会長、副部会長、この後、企画部会に入って、活動してみたいという方を、人数が余り多くなると、審議が非常に面倒になりますので、2名ほど、各部のほうから1名ずつ選出して、やりたいという方は任意で参加していただくような形を考えています。それはこのあと部会のほうで分かれて検討した後で、またこちらのほうで審議をとりますから、やりたい人はそのときに挙手していただければと思います。

高倉委員 ということが今日の全体会議の次第の中には書いていないので、わからなかったということです。

金光委員長 わかりました。一応スケジュール的にはそういうことを考えておりますので、それでご了承願えるでしょうか。やりたい方は入っていただくという形になっています。第4期の場合も、そういう形で、企画部員の人を入れてありますので、5期についても同じような形で進めていきたいと思っております。よろしいでしょうか。

高橋（慶）委員 専門部会の開催ですけれども、年何回と決まっているのでしょうか。それとも、月何回、1回という。どういうふうな形で専門部会をこれから持っていくように。回数は。

金光委員長 それは私は全然考えていませんけれども、とりあえず専門部会の審議、あるいは調査、それから、進展状況によって、過去の例でいきますと、第4期の場合は月に1回ぐらいずつのペースで部会を開いていましたけれども、これはもっと余裕を持って、審議が煮詰まって、どんどんいい結論が出てくるということであれば、開催を2カ月に1遍などという形で、それぞれの部会の審議、進展状況によって、部会で決めていただければと思います。今回これから審議に入るわけですけれども、それもどういうスケジュールでやっていったらいいかというものは、今後分かれた部会の中で考えていただいて、それでスケジュールを決めていただければいいのかなと。私のほうから、こうなさいとか、あるいは事務局のほうからこうやってくださいというのはいちよっとなかなか難しいかと思えます。

前回の場合ですと、正規にやった以外に、非公式に勉強会という形で、議題がなかなか進まない、あるいはまとまらないというので、何回かそういう形で任意で勉強会、そこに参加できる人をお願いして、参加できる人が集まって検討するというのも臨時的にやっていたので、回数にすると結構な回数をやる形になっています。忙しい方が参加されていると思いますけれども、去年の例でいくと、結構な数の会議をやった形になります。さらに企画部会に入りますと、企画部会は毎月1回、大体定期的にやりますから、それとあわせると、結構な回数の会議に参加しなければならないという形になりますけれども、その辺はご了承していただければと思います。よろしいでしょうか。

（4）その他

金光委員長 本日の議事については以上となります。

ここで一区切りして、この後、部会ごとに分かれて、それぞれ打ち合わせをしたいと思えます。

それでは、本日お忙しいところご出席いただきました参与の皆さん方から、区民会議へのご助言、あるいは本日の感想についてお言葉をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

勝又参与 日本共産党の勝又光江といいます。第1回のときは団の合宿があつたりして参加できなかったのですが、今日はずっと2時間いようと思っていたのですが、全体としては前半と後半に分かれて、部会でということになっているので、2部のほうには出られないのですけれども、1部だけで帰らせていただき、別のところでまた動かなくてはいけないのでということで。今日は、若い世代が住みやすいまちづくりと、市民活

動・地域活動の活性化ということで、この2つに分かれてこの後行われるということなのですが、ざっと先ほど説明がありましたように、中で特に私も気になっていることが幾つかありますので、ぜひ具体化していただけたらというふうに思っています。互助、地域におけるコミュニティづくりのところと、市民活動・地域活動をいかに多くの人が参加できるかということを具体的に議論していくということなので、このところは私もぜひ今後の会議の中で参加しながら、意見も述べていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

月本参与 皆さん、お疲れさまです。無所属の月本琢也でございます。私も前回出席ができなかったものから、今回、ある程度、意見、課題の抽出と、その調査をまとめたものをいただきまして、前期で子育てフェスタをやったということがあって、今回、試みを引き続きということで、子どもの居場所づくりというのは、今まさに課題になっていますので、こういったものをテーマとして挙げていただいていることに、私も関心の高いところですよ。市民活動・地域活動の活性化の中では、来週から我々、12月議会が始まるのですが、骨子、パブリックコメントも実施しましたが、町内会・自治会の活動の活性化に関する条例を議員提案で予定しておりますので、そういった意味で、まさに地域活動の根幹になる町内会・自治会というところも、こちらの部会のテーマには合わさってくるのかなというふうに思いますので、皆様方の区民会議での活発な議論にご期待を申し上げまして、また、議会としても一緒にできるところはやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

金光委員長 ありがとうございました。参与の皆様方には、今後とも麻生区区民会議へのご助言をお願いしたいと思っておりますので、ひとつよろしくお願い申し上げます。今日はありがとうございました。

それでは、次に、本日の審議を踏まえ、多田区長よりご挨拶をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

区長 本日は大変お忙しい中、委員の皆様にご出席いただきまして、ありがとうございました。先ほどからお話しいただいておりますように、全体会と、それから、全員参加により企画部会をもちまして、さまざまなご意見をいただき、きょう、若い世代が住みやすいまちづくりと、市民活動・地域活動の活性化という、大きく2つの部会ができるということを伺いました。両方のテーマとも、区も大変関心が高いですし、また、テーマとしては非常に間口が広い課題ですので、それぞれ活動していらっしゃる分野ですとか、あるいはこういうことを区民会議でやりたいと思って公募していただいている皆さんがおりますから、それぞれの切り口からぜひ議論を進めていただきたいと思います。

8月に、新たな推計といたしますか、川崎市の人口推計が出まして、今までの推計で

すと、今、17万5000人ぐらいなのですが、麻生区の人口のピークは2035年、約20万人になるという推計だったのですが、今年の8月に出た推計ですと、ピークが5年ほど早まって、2030年になったと。それから、そのときのピーク時の人口が1割ぐらい伸びなくて18万人ぐらい。今後も人口は若干ふえるのですが、その伸びがちょっと鈍化して、ピーク時の人口も少なくなったということですね。一方、高齢化社会ということで、65歳以上を高齢化と言っているかわからないのですが、65歳以上の人口の割合は川崎市の7区のうち、麻生区は今2番目なのですか、人口のピークが早まったということもございまして、高齢化率というのは全体に対する高齢者数ですから、分母が少なくなると、その率も上がるということがございまして、ピークがまた前倒しになってきます。今、2位の高齢化率が2020年には1位になって、それから、こうした全国的にも、あるいは市域的にも高齢化社会が進行していますので、地域の中でシニアも生き生き暮らせる、こんなことも含めまして、地域包括ケアシステムが今どんどん作り上げていこうということでやっています、これが2025年にはスタートするというので、行政だけではない、福祉ですとか、医療ですとか、さまざまな皆さんが協力し合って、地域での生活を支えるという仕組み。この2025年には、麻生区の高齢化率は26.7%、そのうち16.2%の方が75歳以上、3万人弱というふうになっているのですね。麻生区は環境もいいですし、また、日本一安全なまちですから、そういう意味では、まちの特性、芸術文化などの広がりもありますので、若者がどんどん来てもらって、そして、地域活動に参加してもらって、どんどん活性化できるまちにしたいというのが大きな課題です。そういう意味では、この2つのテーマは切り込みの間口が広いのですけれども、それを両方ともつなげる関係がございまして。区の施策なども考えているところもございまして、しっかりとすり合わせをしながら進めていきたいと思っておりますし、皆さんにもご意見をいただければと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

金光委員長 ありがとうございます。本日の審議はここで区切りといたします。これから各部会に分かれて打ち合わせを引き続きやっていただきたいと思っております。傍聴を希望される方はここへお残りいただいて、さらに傍聴していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、それぞれの部会に分かれる形になりますけれども、各専門部会に分かれて、正副部長候補を決めていただきたいと思っております。それと、専門部会の開催日程の調整、少なくとも次回いつやるか、その次どのぐらいやるかということで、1回目、2回目の専門部会の日程はきょうここで決めていただければと思います。それから、今後の専門部会の具体的な進め方については、今日、いろいろな課題が選出されて出てきています。先ほど区長から言われましたとおり、非常に広範囲な形での議題

が出てきております。今日のこれから分かれた部会の中で、この議題をきちんとどういう方向のテーマを選んで調査・審議していくかというのは、もしかしたらここで決めかねないかもしれません。とりあえず皆さん方と話し合いをして、どういう方向で行くかということの皆さん方の理解を取りつけていただければいいかと思っていますけれども、できなかった場合には、次回の専門部会でさらに審議するためのテーマをはっきりとさせていただいて、次回それで決めていただくという段取りで審議をしていただければいいかと思っておりますので、それぞれ、これから分かれて審議をしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

後のスケジュールがございますので、16時40分まで審議していただいて、結論が出る出ないにかかわらず、40分で打ち切りという形にしたいと思っておりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

[各部会ごとに打ち合わせ]

金光委員長 それでは、各部で議論した内容をそれぞれここで簡単に、新しく決まった部会長に話をさせていただきたいと思っております。まず最初に、若者部会のほうから、白井さん、審議内容を、こんな方向で我々はこれから審議をしていきますという形で簡単に説明していただければと思います。

白井委員 こちらの若い世代が住みやすいまちづくりということで、いろいろな課題があって、それはここに挙がっているものもたくさんあるのですけれども、これだけを取り組むというと、どんどん中に詰まってはくるのですが、若い世代が住みやすいというのはどういうことなのかということから戻って、今回はそんなことをまず議論してから、少し幅を広げた中で、そこで若い世代が住みやすいという、ある種の考えの指標ではないのですが、その辺をつくりながら、今課題に挙がっているものをどういう形になるかなど。

もう1つは、この課題があるのですけれども、それも段階的に、ある程度進めているもの、区ですとか、区民会議でも進めているものについては、方向性として、ここは子育てフェスタの皆さんにお任せしようとか、これは1つの例ですけれども、これもいろいろな課題があるようですが、そういったことで、第1段階、仕切っているというあれですけれども、少し深める部分と、割と早く結論が出る部分を少し整理していこうというお話で、次回から進めていこうということになりました。日程的にこれを1つ1つやっていくと、深めれば深めるほど広がっていく可能性もあるので、その辺は状況を見ながらということで、すぐ提言ありきということではなくて、全部がそこまで至らない部分もあるかもしれませんというところを踏まえながらやっていきたいと思います。

以上でございます。

私が部会長ということで、次に、副部会長。

上野委員 上野と申します。よろしく申し上げます。

金光委員長 どうもありがとうございました。それでは、次の市民活動・地域活動の活性化のほうから、簡単に説明していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

岡倉副委員長 私が部会長ということでやることになりました。高橋さん、副部会長ということになりましたので、よろしくお願いいたします。

それでは、今回、私どもは市民活動・地域活動の活性化というテーマなのですが、課題名が5つもあるのです。では、5つを絞り込んでいこうかということで議論して、優先順位をつくってということをやってみようかという話があったのですが、やはり皆さん、それぞれ部会員の方、委員の方々、それぞれの思いがあるのだから、もう1回、思いを今度の専門部会でぶつけて、それから皆さんの、今でも話を聞いている中で、いろいろなところでいいことをやっているよねという話が出てきました。各団体、資料を見ると、300団体ぐらいあるという話なのですが、その中から、いいことをやっているのだけど、人は集まらないよねというふうな課題というのですか、そういうこともあるので、いいことをやっているという情報をやはりうまく整理して、麻生区民の方々に知らせたらいいなという意見とか、新しく出てきたのが、地域コーディネーターがあったらいいねとかという意見も出てきましたので、今回はこれに当然こだわるのですが、皆さんでもう1回、自分たちの思いをぶつけて、それから方向性を決めていこうというふうに考えております。このような形で進めていきますので、よろしく申し上げます。

以上です。

金光委員長 どうもありがとうございました。

一応こういう形で、正副が決まりましたので、企画部会員の中へ入っていただいて、活躍していただく形になります。

それで、市民活動の部会ですが、副委員長と部会長のダブリが出てしまいましたので、そうでない方で企画部会員になりたい方なのですが、市民活動・地域活動の部会のほうからお2人、企画部会員として参加していただきたいと思います。我こそという形で参加していただける方、手を挙げていただければありがたいのですが。もしなければ、私のほうから推薦するという形でもよろしいですか。

事務局 今、企画部会の委員を決めるのですが、委員長と副委員長は決定で、今決まった両部会長と副部会長は決定です。そうしましたところ、若い世代部会が4名、市民活動部会については岡倉委員が部会長と副委員長でダブリましたので、2名になってしまっていて、バランスを考えますと、市民活動部会のほうから2人、企画部会員をお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

金光委員長 どなたか。それでは、高倉さん。前回はやっていたので、いろいろと企画のことはよくわかっていますので。それから、もう1人、林さんが推薦されましたので、2人に企画部会に入っていただくことでよろしいですね。

3 閉 会

金光委員長 そういうことで企画部会のメンバーも決まりましたので、これで今日の会議は打ち上げという形にしたいと思います。

この後、懇親会がございますので、レストランあさおへお集まりいただければと思います。よろしくお願いいたします。

午後4時57分閉会